

Evernote日本法人・
マーケティング担当・上野美香

Evernote日本法人創立時からのメンバーで、マーケティング担当。特にSNS対応やユーザーコミュニティ醸成に優れた手腕を発揮、今や800万人となった日本のEvernoteの普及に大きく貢献。フリーランスで仕事をしていて、現在も並行して、TEDコミュニティ、地方都市芸術祭など様々なムーブメントにかかわっている。



「やっぱり、経費精算は後回しになっちゃって」と言っつのはEvernoteの日本人でマーケティングを担当する上野美香さん。上野さんはEvernoteの日本人立ち上げの時からスタッフで、いわば日本にEvernote

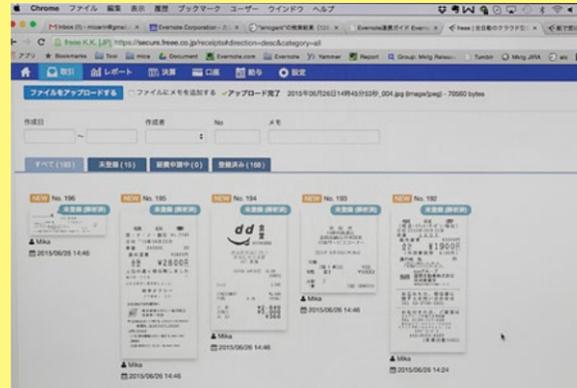
を普及させた立役者ともいえる才媛。しかし、その上野さんも経費の精算は苦手とのこと。「特に個人事業としての経費の精算は、他の人が関わるEvernoteの仕事で優先してしまっ

て、つい何ヶ月分も溜めてしまっ

て、つい何ヶ月分も溜めてしまっ

「ワイヤレスで繋がって、ほとんどタップするだけで処理が終わるのでとっても便利です。特に驚くのが、学習機能。何度か使っているウチによく使う勘定科目などを学習してくれるので、同じお店のレシートがあると同じ勘定科目に

レシートがあると同じ勘定科目に



会計freeはMacやWindowsなどのパソコンの場合はブラウザで動作する。データはクラウドにあるので、アカウントさえあれば様々な端末で使える。



あっという間に勘定科目も割り振られて、表組みになる。金額と日付も領収証から自動的に取り込まれるので手間がない。

日付と金額がOCRで入力され、使い込むと、勘定科目と品目・部門・メモタグ部分が、推測されて入力される。もちろん修正可能。

使っていると、どんどん学習して勘定科目が自動入力されて驚きました！

分類してくれたらりと、どんどん便利になるんです。」
 案内、利用する交通機関や飲食店などには『いつものパターン』があるもの。その定型パターンが自動的に処理されるようになるだけで、手間はかなり減る。
 手間が減れば、本来のマーケティングの業務に注力できる。「手軽で便利なので、なるべく溜めないように精算したいですね(笑)」と上野さんもおっしゃっていた。



iX100は重さわずか400g。iPhoneとWi-Fi経由で接続することもできる。写真のように2枚並行して読み込ませても、どちらも別の書類として認識してくれる。



MacとiX100を関係させてスキャン。ScanSnapとは無線LAN経由だけでなく、Wi-Fiでのダイレクト接続もできる。

ScanSnap ユーザー探訪 第7回

面倒な経費精算は会計freeとScanSnapで

ビジネスが忙しい人ほど、手間をかけたくないのが領収証の管理から、経費精算へのフロー。Evernoteで広報を担当するの上野美香さんは会計freeとScanSnapで快適に経費精算中。

TEXT:T.MURAKAMI 村上琢太 PHOTO:S.KIMURA 木村真一
INFORMATION:PFU <http://scansnap.fujitsu.com/jp/>



会計帳簿を自動作成
日本一使われているクラウド会計ソフト
クラウド会計ソフトfreee
取材時の価格:無料(個人事業主月額1000円)
取材時のバージョン:2.0.1
販売元:freee K.K.



PFUのScanSnap iX100 (PFUダイレクト価格2万3760円)は、バッテリー内蔵でワイヤレス駆動できるA4スキャナー。

freee 米川健一

「『しなければならぬ』に追われずにクリエイティブワークを！」がfreeeのテーマ

freeeのエンジニアである米川健一さんに話を聞いた。「小規模なベンチャー企業にとって経理の仕事というのはけっこう負担。ちゃんと経理の人がいる規模ならともかく、多くの場合他の業務の隙間にやっているから、効率が悪く負担も大きい。本来ベンチャーだからクリエイティブワークに集中したい。それが会計freeeのテーマなのです」とのこと。フリーランスやスモールビジネス経営者にとって便利なサービスだ。



写真を撮って入力するより画質が高いため認識効率も高い。単体アプリなのでブラウザで動くパソコンより扱いやすい側面もある。

勘定科目などはタップして選べるので便利。また、使っているとレシートの種類などを学習し、自動で表示されるようになる。

何度も使っているうちに、ほぼ全項目が自動で入力されるようになるので、ほとんど領収証を読み込むだけで経費精算が終りそう。